

大阪府内における保育士等確保のための実態調査（郵送調査）

問1 貴施設の属性をお教えてください。

(1) 施設種別

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 4年生大学 | 2. 短期大学 | 3. 専門学校 |
|----------|---------|---------|

(2) 施設の所在地

- | | |
|---------|------------|
| 1. 大阪市 | 5. 左記1～4以外 |
| 2. 堺市 | |
| 3. 高槻市 | |
| 4. 東大阪市 | |

(3) 学生の定員

1. 入学定員 _____人
2. 学生定員 _____人

問2 貴施設で学ばれた学生の状況についてお教えてください。

(1) 平成24年度卒業生のなかで、保育所、幼稚園及び認定こども園に就業された学生の割合をお教えてください。

1. 保育所 %
2. 幼稚園 %
3. 認定こども園 %

(2) 貴施設における保育士・幼稚園教諭コースを選択する学生の増減についてお教えてください。

1. 5年前と比べて増えている
2. 5年前と比べ横ばいである
3. 5年前と比べ減ってきている

(3) 貴施設において、保育所、幼稚園等に就業される学生の増減についてお教えてください。

1. 5年前と比べて増えている
2. 5年前と比べ横ばいである
3. 5年前と比べ減ってきている

問3 保育所・幼稚園への就業を選択しない学生の理由はどこにあると思われますか。

1. 保育士・幼稚園教諭は大変そうと考えているから
2. 自分の特性に合わないと思うと考えているから
3. 他の業種の方が給与が良いと考えているから
4. 他の業種の方が休暇や福利厚生が充実していると考えているから
5. 近くで働きたいと考えているから
6. その他 ()

問4 入学生を確保するためにどのような取組みをされていますか。

1. 学校説明会の開催 (他団体主催の合同説明会への参加を含む)
2. 高校へのアプローチ
(具体的に:)
3. その他
()

問5 貴施設において、学生・卒業生が保育所・幼稚園により多く就業するために、特に取り組んでおられることはありますか。ご自由にご記入ください。

()

問6 保育・教育実習についてお尋ねします。

(1) 貴施設において、実習中、どのように学生を指導されていますか

1. 担当教諭が実習先に赴き、現地で学生を指導
その頻度 (日に 回)
2. 学生から担当教諭へ相談する時間を特別に設けておりその際に指導。
3. 学生が随時、担当教諭へ相談しており、その際に指導。
4. その他 ()

(2) 実習に対する学生の感想はどのようなものが多いと感じられますか

1. 楽しくやりがいがあり、困難さもさほどなかった
2. 楽しくやりがいはあったが、困難でもあった
3. あまり楽しくもやりがいもなく、困難であった
4. 非常に困難であった。

(3) 保育・教育実習先の確保は図られていますか。

1. 図られている
2. 苦労はするが図られている
3. 特定の施設に限られている。

問7 保育士・幼稚園教諭について、より多くの人材を育てるために、効果が高いと考える取組みをお選びいただき、第1位～第3位までご記入ください。

第1位 _____ 第2位 _____ 第3位 _____

1. 高校生へのアプローチ
2. 実習現場の多様性
3. 保育士・幼稚園教諭の給与面の向上
4. 保育士・幼稚園教諭の育児休業制度等の充実
5. 行政等による修学資金の創設（例：保育士養成施設で学ぶ学生に対し、資格取得後の保育所等への就業を返還免除条件とし、修学資金を貸し付ける）
6. その他（ _____ ）